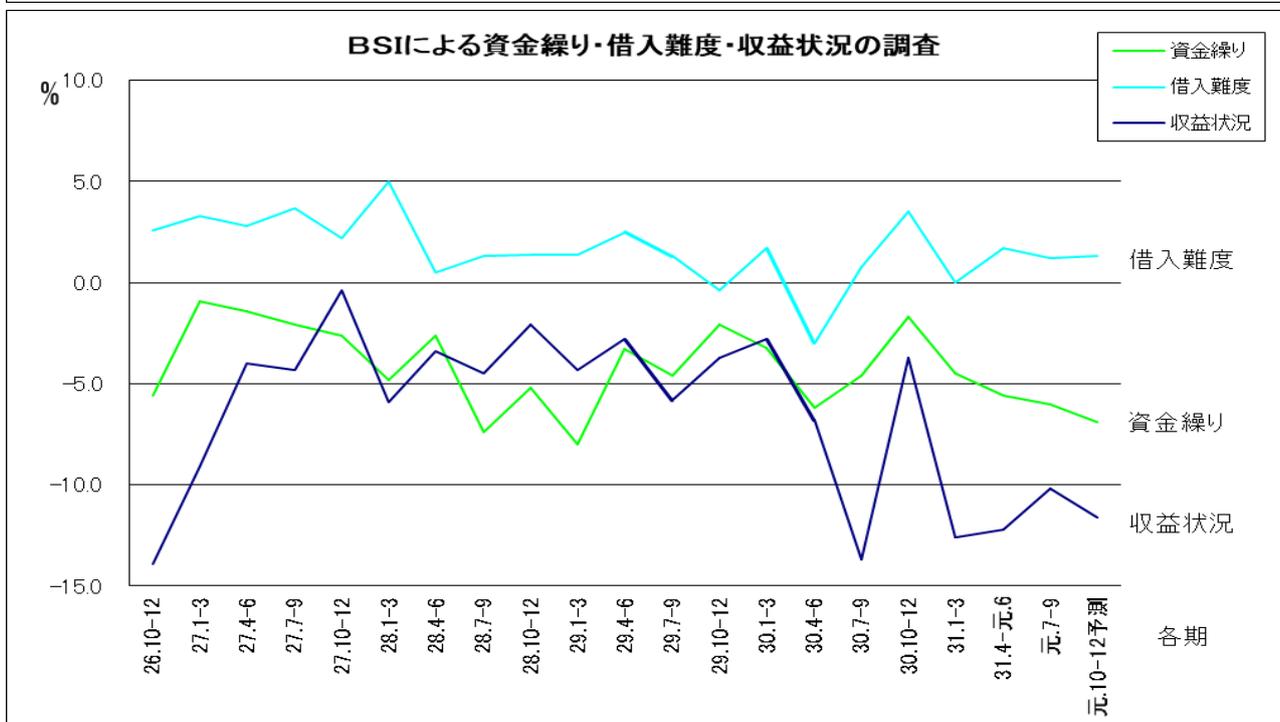
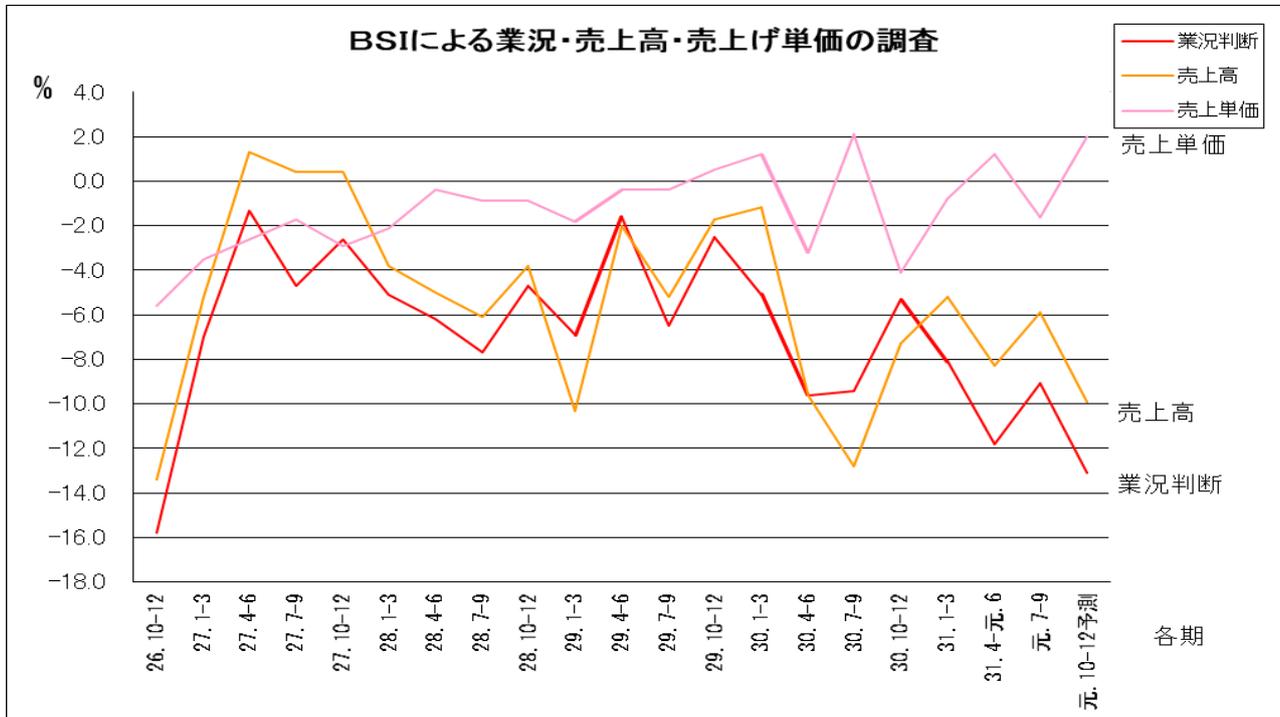


今期の業況判断は「小売業」の大幅な上昇を受け「2.7ポイント」上昇。

中小企業景況調査 令和元年7-9月期(令和元年10-12月期予測)
 一鳥取県下4商工会議所の調査より



* BSI = (上昇・増加 - 減少・下降) × 1/2 (但し、「上昇・増加」+「横ばい」+「減少・下降」= 100)
 経営者の業況に対するマインドを反映するもの。(0%は「上昇・増加」と「減少・下降」が同数。「+」は上昇・増加、「-」は減少・下降)

■業況(グラフ参照)は……

今期の「業況判断」は非製造業(「建設業」「小売業」「サービス業」)の影響を受けた2.7ポイントの上昇です。特に「小売業」で12.7ポイントと大きな上昇がみられました。

また、製造業は3期連続の下降となりました。

来期は製造業及び全ての非製造業で下降予測がされています。特に「小売業」で13.7ポイントの大きな下降が予測されています

■直面している経営上の問題点

- 1位：人手不足(13.7%)
- 2位：経費の増加(13.4%)
- 3位：売上・受注の減少(12.6%)
- 4位：消費・需要の停滞(10.6%)
- 5位：利益率低下(10.4%)

■各社からのその他の問題点

- ・専門職(電気工事)が足りない。(鳥取/サービス業)
- ・鳥取西道路のインフラ整備後、国交省等の発注が停滞しており、次年度以降の収益に影響を及ぼす。県・市をあげて整備案件を国へ要望し実現してほしい。(鳥取/建設業)
- ・軽減税率は誰が喜ぶのか。企業の経費増、混乱を招き、事務員の残業は増え、働き方改革もストップし、非常に困っている。(鳥取/卸売業)
- ・誘致企業で地元企業が県外から売上を獲得して県内企業レベルを向上させる政策に力を入れてほしい。県内で内輪で仲良くなっても経済は向上しない。(鳥取/製造業)
- ・地方都市では市況低迷したまま。消費者の購買意欲が低い。増税、将来不安。増税前後の消費者心理が読めない。来年7月以降も不安。積極的な設備投資、販促活動がとりにくい。(鳥取/製造業)
- ・能力(メカトロ技術、品質管理等)の高い人材を確保したいがむつかしい。UJI ターンを希望する出合いの場が欲しい。(米子/製造業)
- ・消費の低迷が続き、業界は縮小。活路が見い出せない。(米子/製造業)
- ・機械設備(空調等)の更新、「大山開山 1300 年祭」の翌年であることと自然災害の多発によるキャンセルが原因の消費需要の停滞、人件費等の増加と働き方改革等を合わせた組織改革にかかる経費の増加。(米子/サービス業)